

学校評価趣意書

令和5年 4月25日
尾道市立御調中学校

1 学校内外の状況

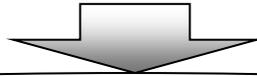
本校生徒は素直で元気であり、ボランティア意識も高い。基本的な生活習慣が定着している生徒や判断力・社会性等も身に付いている生徒も少なくなく、概ね落ち着いた環境の中で生活を送ることができている。

学力面でみると、昨年度の標準学力調査の結果から、2学年及び3学年ともに全国平均値と同等の学力を有している教科もあるが、全国平均値を下回る教科も多くあり、学力の向上は喫緊の課題となっている。また、正答率30%未満の生徒や学力の二極化傾向もあり授業改善を早急に進める必要がある。

素直さと活力がある生徒は多いので、学習課題を生徒自らが設定し、見通しを持った学習ができるよう指導することを通して、学力向上の課題解決に取り組み、改善を図ってきたい。

このような状況を踏まえ、小中連携の一層の充実と連携型中高一貫教育の特色を活かした取組の改善・充実を図るとともに、御調地域学校運営協議会の支援を得ながら、12年間を見通した社会に開かれた教育課程となるよう取り組むことにより、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育成していきたい。その育成の過程で生徒が地域をはじめとする他者に感謝の気持ちを持ち、その気持ちを行動に表すことで地域社会に貢献できる生徒の育成に取り組んでいきたい。

2 ミッション



「地域の教育力を生かした御調プライドを醸成する教育の推進」

3 ビジョン

【 安心・安全で、生徒が夢と志を抱き、心豊かに生き生きと活動する学校 】

【 自ら学び、考え、判断し行動する生徒を育成する学校 】

【 心豊かに、自他を尊重し、共に学び、高め合う生徒を育成する学校 】

4 重点課題

- ① 主体的に学ぶ力を育み、学習意欲の向上を通して学力の向上を図る。
 - ・ 主体的な学習態度の育成を目指すため、授業における学習課題（問い）の設定の工夫に取り組む。
 - ・ 基礎・基本の学力を身につけさせるために、「学力アップ講座」や「補充学習」に取り組む、毎週末に課題を課す「週末課題」に取り組む。
- ② 生徒相互の関わりや地域貢献活動の中で実践意欲や自己有用感の向上を図る。
 - ・ 「御調プライド（時を守る・場を清める・礼を正す）」を持ち、教職員と生徒による「学びの風土」づくりの徹底と深化に取り組む。
 - ・ エリア活動・生徒会活動の充実を図り、生徒が主体的に他者に貢献できるような活動内容の工夫に取り組む。
 - ・ 小中高連携や地域ボランティア活動の充実を図り、他を思いやる心の育成に取り組む。
- ③ 業務改善を志向し、ワーク・ライフ・バランスの実現を目指す。（働き方改革）
 - ・ 行事の精選などへの取組を通して、業務改善に対する意識の向上を図る。
 - ・ 定時退庁日（水曜日）の実現に向けた取組（退庁時間の見える化等）を工夫する。
 - ・ 部活動顧問二人体制の効果を活かし、部活動業務の改善を図る。
 - ・ 年休取得10日以上の実現に向け、授業時数等の進捗管理を徹底する。